

トラブルシューティング：新しく追加されたQNS VMがCPSのtop_qps.shにカウントされない

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[問題](#)

[top_qps.shスクリプトの実行中に新しく追加されたQNS VMがカウントされるプロシージャの実行後に予想される出力](#)

概要

このドキュメントでは、新しく追加されたQuantum Network Suite(QNS)仮想マシン(QNS VM)をトラブルシューティングする手順について説明します。QNS VMは次の場所に存在しません。

top_qps.sh.

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Linux
- Cisco Policy Suite(CPS)

注:CPS CLIへのrootアクセス権限が必要であることを推奨します。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- CPS 19.4
- CentOS Linuxリリース7.6.1810 (コア)
- ユニファイドコンピューティングシステム(UCS)-B

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

背景説明

QNS VMの追加は、CPSノードの容量を拡張する手順です。QNS VMがクラスタに追加されると、新しく追加されたQNS VMは、すべての内部プロセスがアップ状態の場合に即座にトラフィックをピックアップすることが予想されます。

問題

拡張QNS VMがクラスタに追加されると、これらのVMによってトラフィックが処理されますが、`top_qps.sh` スクリプト出力。この例では、`top_qps.sh` 出力には、QNS VMの古いカウントが引き続き表示されます。

```
[root@installer ~]# top_qps.sh
-----
Host Detail:
qns01,qns02 -----> Shows only QNS01 and QNS02 VMs, QNS03 is not counted.
Measurement timer: 1    QNS Count: 2.
-----

Average      Success      TPS      Error      Time Used      Messages
*** No Statistics During Time Period ***
-----

Average      Success      TPS      Error      Time Used      Actions
*** No Statistics During Time Period ***

Tue Sep 20 04:31:55 UTC 2022
*** End-of-Collection ***

[root@installer ~]# about.sh
Cisco Policy Suite - Copyright (c) 2015. All rights reserved.

CPS Multi-Node Environment

CPS Installer Version - 19.4.0

CPS ISO Version Installed - CPS_19.4.0.release

CPS Core Versions
-----
lb01: qns-1      (iomanager): 19.4.0.release
lb01: qns-2      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
lb01: qns-3      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
lb01: qns-4      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
lb02: qns-1      (iomanager): 19.4.0.release
lb02: qns-2      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
lb02: qns-3      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
lb02: qns-4      (diameter_endpoint): 19.4.0.release
qns01: qns-1      (pcrf): 19.4.0.release
qns02: qns-1      (pcrf): 19.4.0.release
qns03: qns-1      (pcrf): 19.4.0.release ----->>> Newly Added QNS[QNS03]
pcrfclient01: qns-1      (controlcenter): 19.4.0.release
pcrfclient01: qns-2      (pb): 19.4.0.release
pcrfclient02: qns-1      (controlcenter): 19.4.0.release
pcrfclient02: qns-2      (pb): 19.4.0.release
```

top_qps.shスクリプトの実行中に新しく追加されたQNS VMのカウントを取得する

ステップ1 ~ 6の通常の手順に従って、新しいQNS VMを追加します。ステップ7が追加され、`top_qps.sh` 新しく追加されたQNS VMをKPIコレクションレポートに含めます。

ステップ 1：更新されたCSV導入ファイルをCluster Manager VMにアップロードします。

ステップ 2：更新されたCSV配置ファイルをCluster Managerにインポートします。

```
/var/qps/install/current/scripts/import/import_deploy.sh
```

ステップ 3：インポートしたデータを検証します。

```
cd /var/qps/install/current/scripts/deployer/support/; python jvalidate.py
```

ステップ 4：VMイメージを構築します。

```
/var/qps/install/current/scripts/build_all.sh
```

ステップ 5：COPY `/etc/hosts` ファイルをCLUMANから全ノードに渡します。

```
SSHUSER_PREFERROOT=true copytoall.sh /etc/hosts /etc/hosts
```

手順 6：追加のqnsノードを手動で展開します。

```
/var/qps/install/current/scripts/deployer/deploy.sh qns03
```

手順 7：QNS-1プロセスを再起動します。 `pcrfclient01/pcrfclient02`.

```
monit restart qns-1
```

プロシージャの実行後に予想される出力

```
[root@installer ~]# top_qps.sh
```

```
-----  
Host Detail:
```

```
qns03,qns01,qns02.      --> QNS03 VM is visible now.
```

```
Measurement timer: 1    QNS Count: 3  
-----
```

```
  Average    Success      TPS      Error  Time Used      Messages  
*** No Statistics During Time Period ***  
-----
```

```
  Average    Success      TPS      Error  Time Used      Actions  
*** No Statistics During Time Period ***  
-----
```

```
Tue Sep 20 05:11:56 UTC 2022
```

```
*** End-of-Collection ***
```

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。